

資金調達(中小企業経営力強化資金)、 販路開拓(プレスリリース)支援の実施

企業が発展・成長していくためには、資金調達・集客、販路開拓のスキルを身につけることが非常に重要です。広島商工会議所経営支援チームでは、会員企業の皆様の経営基盤強化を推進するため、公的融資制度の斡旋、販路開拓支援、各種補助金相談、セミナーの開催など、様々な経営支援を行っております。

今回は、資金調達と販路開拓を行った個社支援事例のご紹介をいたします。

平成 27 年 4 月より広島市の認定連携創業支援事業者として認定!

(株) Hint

昨年 6 月より、起業・創業サポートオフィス「port.ink」の運営を開始。インキュベーション施設として、入居者の経営サポートを行うだけでなく、「広島を、起業家精神とチャレンジシップが日本で一番あふれる街にしたい」との強い思いから、起業・創業サポートの経験豊かなスタッフと広島の現役起業家達の積極的な支援のもと、起業家育成支援を行っている。

- ◆所在地 広島市中区本川町 3 丁目 1-5
シーアイマンション 2F
- ◆代表者名 中島 久美子
- ◆業種 インキュベーション施設運営
- ◆従業員数 1 人
- ◆創業 2014 年
- ◆URL <http://www.port-inc.jp/>



相談の経緯

相談企業では、インキュベーション施設の運営と本年 4 月に広島市の創業支援事業者として認定され、「店舗型創業支援」「専門分野個別相談会」など、起業家育成に向けた支援を行う予定であった。創業支援事業はキャッシュアウトからキャッシュインまでが長期間に渡るため、運転資金確保のための融資制度の紹介、あわせて集客のためのプレスリリースの手法についての支援要請があった。

成度の高いものであったが、第三者から見て分かりにくい表現になっている項目があったため、スキーム図を追加することを提案。さらに、各事業の具体的な数値目標を詳細に記載していただくよう助言を行った。また、新規事業を取り組まれるにあたり、プレスリリースを行うタイミングやリリースする内容など、具体的な手法について支援した。

支援内容

創業間もない同企業においては、認定支援機関である会議所の支援を受けながら、事業計画書を作成から、期中における継続的な支援が求められる「中小企業経営力強化資金」の活用が有効であると考え、すでに同社で作成されていた事業計画書のブラッシュアップを行った。事業計画書の内容はすでに完

支援の成果

低利の融資制度を活用できたことで、経費を抑えることができた。また、広島経済記者クラブ(加盟社 19 社)にプレスリリースした内容が新聞に取り上げられ、集客力のアップと同施設の認知度向上につなげることができた。(支援担当者:梶田美和)



【相談者の声】



(株) Hint
代表取締役
中島 久美子さん

融資の際、親身に相談に乗っていただきながら、事業計画書や収支計画書について、しっかりアドバイスいただき、事業内容をブラッシュアップすることができました。また、プレスリリースの際は、同行していただき、新聞記事に取り上げていただくこともでき、大変感謝しております。今回ご支援いただいた資金調達とプレスリリース等の手法を、今後は自社で行う創業支援にも活かしていきたいと考えております。

☆中小企業経営力強化資金

創業又は経営多角化・事業転換等による新たな事業活動への挑戦を行う中小企業・小規模事業者であって、認定支援機関の経営支援を受ける事業者を対象に日本政策金融公庫が低利融資を行うものです。事業者は、事業計画や経営改善計画を策定し、実行責務を負い、期中の進捗報告を行う必要があります。

◆対象者	次のすべてに当てはまる方 1. 経営革新又は異分野の中小企業と連携した新事業分野の開拓等により市場の創出・開拓(新規開業を行う場合を含む)を行おうとする方 2. 自ら事業計画の策定を行い、中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律に定める認定経営革新等支援機関による指導及び助言を受けている方
◆融資限度額	7,200 万円(うち運転資金 4,800 万円)
◆ご返済期間	15 年以内(設備資金)、5 年以内(特に必要な場合は 7 年以内)

